

『北海道高齢者向け住宅事業者連絡会』
2014年度第3回（通算第15回）理事会 議事録
（議事録作成：事務局 立花）

日時：2014年 7月23日（水）18:30～20:00

会場：NPO 法人シーズネット会議室（北区北10条西4丁目）

出席者：（理事）奥田龍人、鹿野憲、石田幸子、川尻明、沼田典子、村井一幸
（事務局）立花和浩（オブザーバー）高橋澄恵行政書士

欠席者：（理事）矢満田賢司、天野佐智子

※敬称略

私は、本議事録を確認したことを証し、署名する。

議長： 奥田龍人
（会長・理事・奥田社会福祉士事務所）

議事録署名人： 石田幸子
（副会長・理事・株アルワン）

議事録署名人： 川尻明
（副会長・理事・株健康会）

【会議次第】

- 1 議長選出
- 2 理事会定数の確認
- 3 議事録署名人の指名
- 4 報告事項
 - 1) 会員の現状報告（7月22日現在）
 - 2) 連絡会の決算報告（7月末日現在）
 - 3) 市民セミナー＋第3回定例年次総会
 - 4) 2014年「サービス付き高齢者向け住宅等相談員養成研修」実施報告
 - 5) 「傾聴ボランティアの育成及び派遣事業」の進捗状況について
 - 6) その他
- 5 協議事項
 - 1) 2014年度事業計画の具体的な進め方について
 - 2) 一般社団法人化について

3) 第4回住宅フェア開催について

4) NPO法人シーズネットの賛助会員となる件について

5) 「サービス付き高齢者住宅入居者の介護サービス利用特性とLSAの機能と役割」(文部科学省・文部科学研究費研究、代表研究者:大谷大学 永田志津子教授)の調査協力について

6) その他

6 次回開催について

【議事内容】

1 議長選出

- 会則により奥田会長が議長に就任

2 理事会定数の確認

- 出席：奥田、鹿野、石田、川尻、沼田、村井
8名中6名で、3分の2を満たしているので理事会の成立を宣言

3 議事録署名人の選任

- 石田理事、川尻理事を選任

4 報告事項

1) 会員の現状および本年度会費支払い状況について

会員数の現状報告（7月22日現在）

- ・正会員：83社・人、173住宅 ・賛助会員：67社
- ・会費収入：1,870千円（2014年度予定）
- ・年度変わりでの退会者は、正会員5社、賛助会員8社・人
- ・本日現在の年会費の納付未了者は、正会員1社、賛助会員3社・人

2) 連絡会の収支状況報告(7月末日現在)

- ・次回に報告

3) 市民セミナー＋第3回定例年次総会報告

- ・市民セミナーについては、100名強の参加者があった。
- ・総会別紙議事録の通り、すべて原案通り承認。

4) 2014年度「サービス付き高齢者向け住宅等生活相談員養成研修」実施報告

- ・前回理事会報告の通り20名の受講者にて終了。
- ・別紙開催案内の通り11月に本年度2回目を開催予定。

5) 「傾聴ボランティアの育成および派遣事業」の進捗状況について

- ・検討委員会においてテキスト及びカリキュラムを検討中。
- ・第1回の養成研修を9月または10月に実施の予定。

6) その他

- ・特に報告項目なし

5 協議事項

1) 2014年度事業計画の具体的な進め方について

① 事業計画案のうち直近の事業の進め方について

- ・企画広報委員会：事業者勉強会については9月までの3回分についてはテーマ、講師とも決定済み。後半3回分については会員アンケートの回収を待ってテーマおよび講師を最終決定の予定
- ・新規活動準備委員会：初回の委員会を8月には開催し、保証人、苦情対応などについて検討する。

2) 一般社団法人化について

① 法人登記について

- ・本日理事各位の印鑑証明を高橋澄恵行政書士にお渡しし、法人登記手続きを進める。
8月初めには登記を終了の見込み。

② 解散総会・新法人設立総会の開催について

- ・9月6日開催の住宅フェア終了後に開催とし、会員には8月に委任状他発送する。

3) 第4回住宅フェア開催について

①別紙資料の通り、出展要項ならびに会場レイアウト図を近日中に会員ならびに道内高齢者向け住宅（サ高住を含む）に送付し、周知したい。また、当日のセミナーの内容を検討したい。

- ・セミナーについては2本程度とする。認知症をテーマに勤医協伊古田先生に鹿野副会長より依頼してみる。また、ジャーナリストの浅川澄一氏に奥田会長より依頼してみる。

4)NPO法人シーズネットの賛助会員について

①奥田会長より事務局を借りているほか各種事業の連携関係にあることから賛助会員（年会費10,000円）として協力することとしたいとの説明。

- ・承認。

5)「サービス付き高齢者住宅入居者の介護サービス利用特性とLSAの機能と役割」(文部科学省・

文部科学研究費研究、代表研究者:大谷大学 永田志津子教授)の調査協力について

①事務局に標記調査研究に関し代表研究者より本会に調査研究の協力依頼（別紙参照）があったため、協力することとしたい。なお、調査研究終了後には本会の事業者勉強会等適切な「場」において、成果の発表を無償にて実施していただく予定。

- ・承認。出来るだけ郵送物について相乗りで送るよう配慮する。また、会員から誤解を受けないよう注意して協力依頼文を作成添付すること。

4)その他

- ①特に項目なし

6 次回開催について

* 次回の開催については協議事項が発生した際、都合伺いの上日時を決め開催する。

以上で第15回理事会を終了した。